

「手は動くのに、動作をうまく再現できない」といった 『「失行」がスッキリわかる』

無料 Web セミナー 1 月 30 日（金）開催——医学書院

株式会社医学書院（所在地：東京都文京区、代表取締役社長：金原 俊）は、高次脳機能障害に携わる医療従事者に向けた無料 Web セミナー『「失行」がスッキリわかる』を 2026 年 1 月 30 日（金）19:00～20:30 に開催します。

株式会社医学書院公式サイト：<https://www.igaku-shoin.co.jp>

無料 Web セミナーの概要

『失行の診かた』『失行のリハビリテーション』出版記念Webセミナー

「失行」がスッキリわかる

明日からの臨床に活かすヒント

日時 2026年1月30日（金）19:00～20:30

対象 作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、脳神経内科医、リハビリテーション科医など、高次脳機能障害に携わる医療従事者全般

講師 近藤正樹先生 花田恵介先生

近藤正樹先生 京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経内科学・講師

花田恵介先生 四條畷学園大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻・教授

参考図書 『失行の診かた』『失行のリハビリテーション』

受講料 無料

セミナー名：『「失行」がスッキリわかる』

開催日時：2026 年 1 月 30 日（金）19:00～20:30

開催形態：オンライン（リアルタイム配信＋アーカイブ配信）

アーカイブ：あり（配信後 1 か月）

受講料：無料

対象：作業療法士、言語聴覚士、理学療法士をはじめ、脳神経内科医やリハビリテーション科医など、高次脳機能障害に携わる医療従事者全般

講師：近藤正樹先生、花田恵介先生

詳細：<https://www.igaku-shoin.co.jp/seminar/detail/260130sem>

◆主なプログラム(予定)

- ・ 講演 1 失行の診かたを考える
- ・ 講演 2 失行の患者さんの訓練について考える
- ・ トークセッション 「失行」のリハビリテーションについてあれこれ考えてみる

◆「手は動くのに、動作をうまく再現できない」

——そんな“失行”の患者さんへの対応に、臨床の現場で悩んだことはありませんか？

- ・失行は、もっとも対応に難渋する高次脳機能障害のひとつ。診断や評価・介入の手がかりをつかむのは容易ではありません。
- ・このたび『シリーズ・高次脳機能の教室／失行の診かた』（執筆：近藤正樹先生）、ならびに『[ひもとく・理解する・支援する]失行のリハビリテーション』（編集：花田恵介先生）の同時刊行を記念したセミナーを開催します。
- ・診断・治療とリハビリテーション、それぞれの専門家が「失行」を多角的に語り合い、明日からの臨床に活かすために必要な視点とヒントをお届けします。
- ・作業療法士、言語聴覚士、理学療法士をはじめとしたセラピストはもちろん、脳神経内科医やリハビリテーション科医など、高次脳機能障害、そして失行の患者さんに関わる医療者の皆様のための実践セミナーです。

講師プロフィール

・ 近藤正樹

（京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学・講師）

1993 年京都府立医科大学卒業。天理よろづ相談所病院で初期研修を修了し、京都府立医科大学神経内科学教室で神経内科を研修後、同教室スタッフになる。2007 年 10 月から 2008 年 3 月に昭和大学神経内科に研究生として国内留学。京都府立医科大学に戻り、リハビリテーション部を兼務。

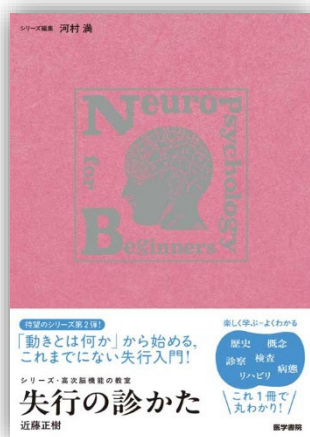
・ 花田恵介

（四條畷学園大学リハビリテーション学部作業療法学専攻・教授）

1982年島根県生まれ。広島大学医学部保健学科卒業。大学病院などで約18年間、作業療法士として従事。博士（作業療法学、山形県立保健医療大学）を修了。大阪公立大学大学院総合リハビリテーション学研究科客員研究員を経て、2023年より現職。

日本神経心理学会評議員、日本高次脳機能学会Brain Function Test委員会委員。

講師著書のご案内



書名:『シリーズ・高次脳機能の教室 失行の診かた』

シリーズ編集:河村 満

著:近藤 正樹

発行月:2025 年 11 月

判型:A5

頁数:200

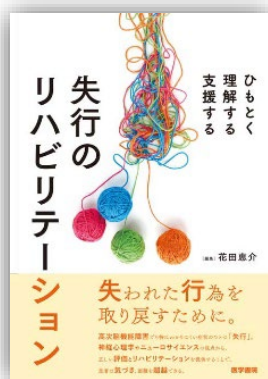
ISBN:978-4-260-06272-5

定価:3,850 円(本体 3,500 円+税)

発行元:医学書院

詳細ページ:<https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/116256>

高次脳機能障害のなかでも、最も難解な概念の 1 つ——「失行」。この複雑なテーマをエキスパートがトコトンわかりやすく解き明かす。「なぜ失行は理解しにくいのか?」。その問いに向き合い、まずは前提となる「動き」のしくみから丁寧に解説。そして失行を「発見」した Liepmann を軸に、彼以前以後まで広く歴史の流れを俯瞰し、点の知識ではなく、立体的な全体像として失行を捉えます。カラーイラストも豊富に収載。



書名:『ひもとく・理解する・支援する 失行のリハビリテーション』

編集:花田 恵介

発行月:2025年11月

判型:B5

頁数:328

ISBN:978-4-260-05585-7

定価:4,950円(本体4,500円+税)

発行元:医学書院

詳細ページ:<https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/110488>

高次脳機能障害は身体障害に比べると目に見えにくく、療法士にとって、患者への対応に難渋することもある。本書は、その代表的な障害である「失行」に焦点を当て、神経心理学やニューロサイエンスの視点から症状の本質を探っていく。リハビリテーションや用いられるアウトカム尺度の現況をバランスよく示すとともに、臨床での支援例も多数収載。複雑にからみあった症状をひもとくことで患者に「気づき」をもたらす。

■お問い合わせや取材のお申込みは下記までご連絡ください。

<https://www.igaku-shoin.co.jp/inquiry/books>

株式会社医学書院について

【会社概要】

社名:株式会社医学書院

本社所在地:東京都文京区本郷 1-28-23

代表取締役:金原 俊

設立:1944 年 8 月

コーポレートサイトURL:<https://www.igaku-shoin.co.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社医学書院 <https://www.igaku-shoin.co.jp/inquiry/books>